

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和8年度学校評価 計画

達成度(評価)
A:十分達成できている
B:おおむね達成できている
C:やや不十分である
D:不十分である

学校名 唐津市立厳木小学校

1 前年度 評価結果の概要
・小中連携・学力向上については、施設一体型併設校の強みを生かし、小中職員が校内研修で授業過程の統一や「話し合いの視点」「振り返りの視点」「目指す資力・表現力系統表」を作成・活用等を共通実践し、グループやクラスで話し合うことで自分の考えを広げたり深めたりする授業の充実を図ってきた。「家庭学習の手引き」を作成したが、目標とする家庭での学習時間を達成している児童は76%だったため、よい自学ノートを提示したり中学校の期末テストにあわせて家庭学習がんばり週間を継続実施したりすることで充実と習慣化を図っていきたい。・学校教育目標の達成のため、地域、家庭と連携を図りながら、具体的取組を行ってきた。特に、地域人材を活用した体験活動を多く設定することで、学ぶ楽しさや面白さを味わい、理解を確かなものとし、その学びを発信する児童が増えた。今後も児童の課題意識に応じた体験学習や郷土の課題解決のための取組を行い、地域と共にある学校、地域の期待に応えられる学校となるよう努めていきたい。・会議の分散設定など実施したが、時間外勤務時間の削減はなかなか実現しなかった。職員の働き方改革についての意識は高まってきているので、組織力を生かした改善策を探っていき、心身共に健康に働くことができる職場づくりに努めていく。

2 学校教育目標
夢にむかって 学び続けようとする 子どもの育成
～地域とともに 未来を拓く 厳木小中学校～

3 本年度の重点目標
(1) 小中連携・学力向上……小中併設校として、9か年の学習内容や児童・生徒の発達段階に応じた魅力ある授業を展開し、学習意欲を高める。
(2) 個に応じた教育の充実……児童・生徒一人一人の長所や強みに着目して、多様なニーズを有する子どもたちに対応した学びを実現する。
(3) 認め合い、思いやりをもって行動する子どもの育成……みんなが協力し、自他共のよさを認め合う場面を設定し、自分と他人の権利を尊重できる態度を育てる。

4 重点取組内容・成果指標 中間評価 5 最終評価

Table with columns for evaluation items, key measures, specific measures, progress, intermediate evaluation, final evaluation, and main responsible parties. Includes sections for '学力の向上', '心の教育', '健康・体づくり', '業務改善・教職員の働き方改革の推進', and '特別支援教育の充実'.

Table for '本年度重点的に取り組む独自評価項目' (Independent evaluation items to be focused on this year), including '志を高める教育' and '開かれた学校づくり'.

5 総合評価・次年度への展望
●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育